

## スチール・カバー工法<sup>®</sup>

小波スレート壁改修

# ウォール・ スライドイン工法 (間接固定工法)

### ■既存小波スレート壁に穴をあけずに 施工可能

既存フックボルトを利用し、専用金具を固定し下地を構成してゆくため、既存小波スレートにダメージを与えることはありません。

※既存建物の状態により穴をあける場合があります。

### ■たたき込み治具によるスムーズな固定

固定金具は既存フックボルト座金部にスライドさせ固定しますが、たたき込み治具を用いることによりスレートへの不要な打撃を抑え、小波スレートの損傷を防ぎます。スムーズに挿入できるため、作業性も向上します。

### ■工事中でも営業や操業が可能

施工中もアスベストを含む粉塵等を室内へ飛散させない工法なので、室内養生の必要もなく、建物内での業務は継続して行えます。

### ■既存フックボルトの切断作業が不要

固定金具、下地部材を用いることで、既存フックボルトの余長分と干渉せず、面倒な切断作業は不要です。(ボルト余長0~35mm)

### ■下地構成時に不陸調整が可能

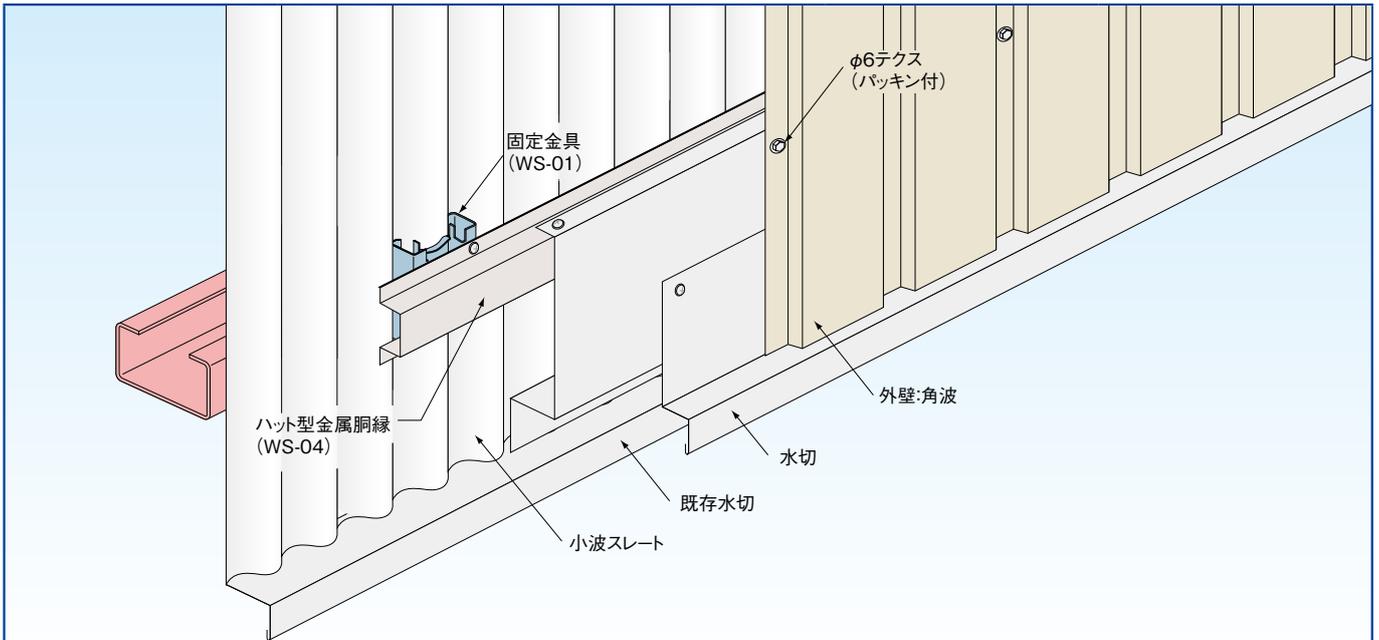
固定金具と固定金具(Hタイプ)を使用することにより、スレートの重なりによる不陸を吸収します。明かり採り部ではスレートとの高さが異なるため、高さ調整金具を用いて不陸を最小限に留めます。



after



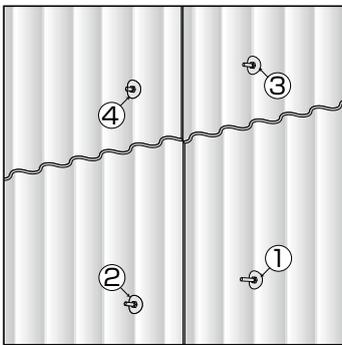
after



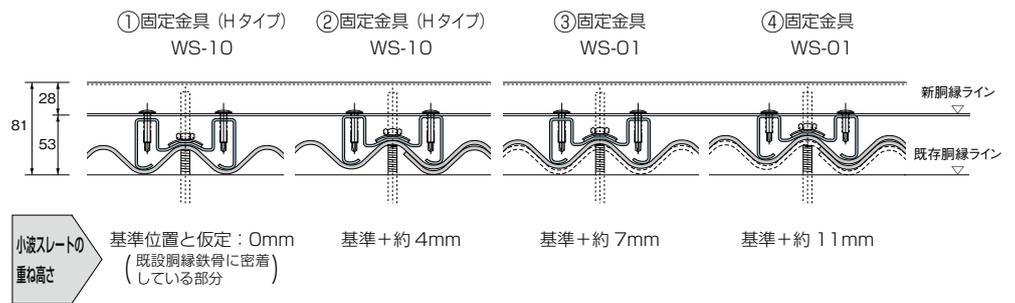
## ■ 純正部材

<p><b>固定金具 WS-01</b></p> <p>亜鉛めっき鋼板 t = 1.6mm</p>	<p><b>固定金具(Hタイプ) WS-10</b></p> <p>亜鉛めっき鋼板 t = 1.6mm</p>	<p><b>ハット型金属胴縁 WS-04</b></p> <p>材質: 亜鉛めっき鋼板 t = 1.2mm L=3175mm</p>	<p><b>高さ調整金具(5mm) WS-11</b></p> <p>※主に明かり採りで使用 材質: 亜鉛めっき鋼板 t = 0.8mm</p>	<p><b>たたき込み治具 WS-50</b></p>
---	---	--	--	-----------------------------

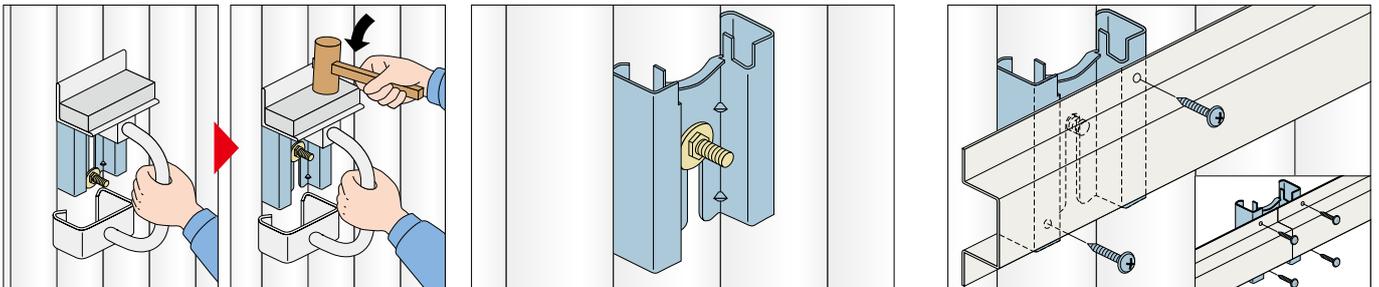
## 固定金具の使い分け



スレートの重なりにより胴縁鉄骨から外表面の高さが異なり、既存フックボルトを利用する工法では高さ調整が必要になります。



## ■ 施工手順

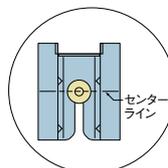


### 1 固定金具の設置

たたき込み治具を固定金具にセットします。確実にセットされていることを確認後、たたき込み治具の上部をハンマー等で、フックボルトが固定金具の中央にくるまでたたき込んでください。

### 2 固定金具の位置確認

固定金具の中央にフックボルトがある事を確認してください。



### 3 ハット型金属胴縁の固定

シンワッシャーテクスを用いて、ハット型金属胴縁を基本対角2本により、固定金具に止め付けます。  
※ハット型金属胴縁端部は固定金具上で継いでください。(上左下図参照)